

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		波の家魚住南放課後等デイサービス				公表日	令和7年 2月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		活動によっては、机や椅子の配置を変えたり、他の公共施設を使用して体を動かすカリキュラムも取り入れられるようにしている。	活動の内容に適したスペースを確保できるよう工夫していく。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		職員を多く配置し、適切な職員配置を維持できるようにしています。	適切な職員配置を今後も行います。面談時に配置基準や実際の職員配置人数などを示しながら、より丁寧に説明を行っていきます。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		視覚支援を用い、わかりやすく使いやすくなるようにしています。	今後も子どもの特性にあった情報伝達を行っていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		丁寧な清掃を心がけ、清潔に保てるようにしています。清掃強化月間を設けています。	今後も毎日の清掃や整理整頓を行い、子どもの活動に合わせた空間となるよう工夫していきます。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		体調不良やクールダウンなど必要に応じて個室を利用している。	今後も継続していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	支援の仕方やカリキュラムの設定を検討し相談したり気付いたことや反省点を話し合い改善できるようにしています。	今後もフィードバックを積み重ね、改善に努めて参ります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者からの評価表の意見を職員間で共有し、環境や支援について振りかえる機会を設け改善を行っています。	今後も保護者の意向に添えるよう、改善していくよう努めて参ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		法人全体で半年に一度、業務改善のためのレポートを提出し、挙がってきた意見は検討・改善を行っています。	今後も職員が意見を出しやすい雰囲気作りを行い、改善につなげていけるようにしていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	現在は行っていません。	要望があれば外部評価を行っていきたいと思います。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修や講習に積極的に参加し、参加できなかつた職員にも情報伝達を行っています。	今後も研修を積み重ね職員の資質向上に努めて参ります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		保護者だけでなく子どもにもどんなプログラムを計画しているのかを示し、事前に確認することで安心につながっています。	今後も継続していきます。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		面談時に前回の支援計画書の振り返りを行い、現状を保護者と情報共有しています。新たな課題が見つかれば新しく目標設定し支援計画を作成しています。	子どもと保護者のニーズや課題を把握し計画を作成していきます。また、日々の活動の中でも子どもと信頼関係を築きアセスメントを取り計画に生かしていきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		計画を作成する際には、支援している職員の意見も取り入れ検討している。	今後も児童発達支援管理責任者、職員の共通理解が図られるように検討を行っていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		職員間で計画に沿って支援できるよう、日々確認できるようにしています。また支援について振り返りを行っています。	計画に沿って支援できているか確認を行い支援していきます。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		フォーマルなアセスメントだけでなく日々の行動観察を行い職員間で共有しながら子どもの状況を確認しています。	フォーマルなアセスメントとインフォーマルなアセスメント行動の分析を行っていきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	提供すべき支援の項目の見直しを行い、それぞれの項目に適切なねらい、具体的な支援内容が設定できているか確認している。	今後も支援に必要な支援項目や具体的な支援内容を設定していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	3	カリキュラムの担当者会議によって検討されている。カリキュラム担当者から活動の意図を職員に伝え、子どもの状況に合わせて工夫している。	多くの職員と話し合いを行い、子どもの状況に合わせたプログラムの立案を行っていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		様々な領域のプログラムを取り入れられるように計画している。また、内容も主になる職員を分担することで固定化しないようにしている。	プログラム担当者が中心となり様々な活動を経験できるよう職員が意見を出し合いプログラムの検討を行っていきます。	

適切な支援の提供	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		活動の内容や理解度に応じて個々に対応できるようにしている。	個別、集団を適宜組み合わせていながら、子どもに合った支援が行えるように計画、支援を行っていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		前日や当日に打ち合わせを行い準備や流れの確認を行っている。また、役割も固定せず職員全員がいろいろな視点で支援できるようにしている。	チームで相談や意見を出し合い連携してより良い支援ができるように工夫していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		子どもの活動の様子やプログラムの内容について情報共有を行い、改善点や配慮すべき点について話し合っています。	振り返りを行い、子どもの理解やプログラムの内容、支援の仕方について改善していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援について職員が気になったことを記録し、支援の仕方について配慮すべき点や検討すべき点については職員間で話し合っている。	職員間で共有し、個々の状況に沿った支援ができるようにしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6か月に1回面談を行い、保護者、子どもの課題やニーズの聞き取りを行っている。	今後も定期的にモニタリングを行い、計画を適切に見直していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		基本的活動を組み合わせ、様々な活動を取り入れができるよう担当者が集まり検討を行っています。	今後も検討を重ね、4つの基本活動を組み合わせたプログラムを検討し支援していきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		子どもが自分で活動内容を選択したり、活動の方法や使うものなど個々にあった方法を選択できるよう準備しています。	今後も自己選択機会を増やし、個々に合った選択ができるよう工夫していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		子どもの状況を把握しているものが参加し、支援内容の確認や方向性を相談しています。	今後も継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		学校・サポート校・職業訓練校・子ども家庭センターとの会議を開催し、子どもの状況や支援内容などについて情報交換を行っている。	今後も連携して支援を行っていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校と密に連携を取り、情報共有を行っています。トラブル発生時なども、子どもの様子など共有を図っています。	今後も学校と情報共有を行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		現在は行っていません。	情報共有の必要があれば行っていきたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		卒業後の進路先との連携として、保護者の了承の基、支援内容を情報提供し、スムーズに移行していくようにしています。	保護者からの要望があれば、今後も情報提供を行っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	代表者が研修などに参加して、伝達講習会を行い講習参加者から各職員へ報告を行っている。	今後も継続していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	2	秋祭りを開催し、地域の子どもと交流できる機会を作っています。	障害のない子どもと活動する機会を増やしていくよう検討していきます。
保護者への説明等	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		2	代表者が協議会などに参加して、伝達講習会を行い講習参加者から各職員へ報告を行っている。	今後も継続していきます。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		保護者との連絡ノートでのやりとりで、日頃から情報を共有できるようにしています。また、何かあれば電話やメールでその日の様子を伝え、共通理解できるように努めています。	保護者との連携を密に行い、情報共有の機会を大切にしていきます。ご家庭の状況に合わせた情報共有の機会や手段を提案し、より積極的に情報共有を行っていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		保護者会でペアレン特レーニングを実施し、保護者の対応力向上に繋がる情報の提供を行っています。また、保護者からの相談にも応じ解決策の提案を行っています。	保護者会により多くの参加を促せるよう、保護者の要望を伺いながらより関心をもっていただける内容を検討していきます。日頃から保護者と相談しやすい関係を築いていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		施設との契約を行う面談時に保護者への説明を行っています。また、問い合わせの都度説明しています。	今後もより丁寧な説明を行っていきます。
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		面談の時に、保護者と支援計画の内容を振り返りながら、十分な聞き取りを行い、説明しています。	今後もわかりやすく丁寧な説明を行っていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		保護者と支援計画を示しながら、説明を行い適宜内容について質問に答えるようにしています。	今後もわかりやすく丁寧な説明を行っていきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	面談を行うと共に、日頃から必要に応じて保護者と個別に話をする時間を作り対応しています。また、適切な助言が行えるよう、研修等を通じて支援員の資質向上に努めています。	今後も適切な助言が行えるように研修を行い、支援員の資質向上を図っていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	現在、年2回保護者会を実施し、保護者間で交流する機会を設けています。	参加できない保護者に対しても保護者会の資料をお配りし、保護者同士の連携を図っていきます。また、保護者同士が交流しやすい保護者会の実施を心がけていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	苦情があつた際には、職員すぐに周知し、対応するようにしています。また、迅速、適切に対応できるように改善策を考えています。	原因や問題点を明らかにした上で記録を残し、職員間で情報を共有することで、同じことが繰り返し起こらないように対応していきます。また、未然に防ぐことができるよう、丁寧な支援・対応を日頃から徹底していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	毎月、行事予定や活動内容の報告を記載した通信を発行し、お渡ししています。また定期的にブログを更新し、活動の様子を発信しています。	今後も様々な発信の方法を利用し、保護者や利用者へ活動内容や行事内容などを周知していくだけるように発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	個人情報などが記載されているものは鍵付きのロッカーに保管しており、施設外に持ち出さない事を徹底しています。破棄する書類はシュレッダーを使用しています。	今後も個人情報の取扱いに対する職員の意識向上を図っていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	必要に応じて口頭だけでなく、文章やメールでも保護者へ説明を行っています。また、利用者に対して、適切な伝達方法を考え、一人一人に合わせた伝え方にも取り組んでいます。	個人に合わせて伝達の仕方を工夫していきます。その方法を職員間で徹底して共有することで、利用者や保護者に分かりやすくお伝えできるよう努めて参ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	秋祭りを開催し、地域の子どもや住民と交流できる機会を作っています。	地域住民に開かれた施設を目指して、交流できる機会を増やしていくよう検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	各種対応マニュアルを作成しています。職員で共有し、定期的に訓練を行っています。	今後も継続していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	業務継続計画を策定しています。定期的に非難、救出の訓練を行い、より安全に避難できるようにしています。	今後も継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	入所時に、服薬やてんかん発作についての状況や対応について、保護者に確認を行い、面談時には状況に変化がないか確認を行っています。	今後も保護者と連携を行い、服薬やてんかん発作の状況把握を行い職員で共有していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	施設の利用の際や、毎年保護者に必ずアレルギーに関するアンケートを行い確認してます。食物アレルギーのある利用者に対しては、保護者の指示の基、対応を行っています。	今後も現状を継続し、保護者と相談しながら、対象の利用者には適切に対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	安全対策のためのマニュアルを作成し、様々な緊急対応の訓練や、定期的に設備などの点検を行っています。	今後点検や訓練を行い、安全に支援できるよう改善していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	安全確保に関して、入所時の説明会や面談で説明を行い、周知していただけるようにしています。	今後も保護者や家族と連携が図られるよう、取り組みについて説明を行っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	ヒヤリハットは職員間で共有した上で、今後の再発防止について話し合い、記録を残すようにしています。	今後も記録や情報共有を行い、再発防止や事故を防ぐ工夫を検討していきます。
虐待等の対応	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	月に1度、全職員で虐待についての研修を行い、日頃の支援内容の振り返りや、具体的な事例を挙げて意見を出し合い、虐待防止に努めています。また法人全体で虐待防止に関するミーティングを行っています。	今後も研修を行い、虐待防止に努めます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	身体拘束については組織的に検討を行い、こどもや保護者に事前に説明を行っています。	今後も様々な方法を検討する事を怠らず、やむを得ず拘束を行う場合は、保護者と相談した上で、支援として取り組んでいきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	波の家魚住南放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2024年8月8日	~	2024年8月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 17	(回答者数) 11	
○従業者評価実施期間	2024年8月8日	~	2024年8月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数) 6	
○事業者向け自己評価表作成日	2024年9月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動プログラムや個人でのプログラム・集団でのプログラムを用意し、社会に出るまでにたくさんの経験を積んでいけるよう取り組んでいる。	プログラムを固定化しないためにプログラム担当の職員を中心[newline]新しい活動内容を考えたり、日によってプログラムを進めていく職員を変えていくことで、個々の職員の意識も高まったり、活動のバリエーションも増えてきている。	社会に出たときに必要な経験が積めるようなプログラムを、興味を持って取り組めるように、内容や支援方法を改善していく。
2	法人内に同世代が通う放課後等デイサービスが近くにあり、交流活動ができる。	週1回は、同好会活動（運動や調理、制作など）を行い、同じことに興味を持っている同世代の方との交流ができたり、年に数回は合同でイベント（秋祭り、ウォーキング、球技大会など）を行っている。	同世代とのコミュニケーションを楽しんだり、趣味や余暇の楽しみをみつけられるよう活動を取り入れていきたい。また、たくさんの人と関わる機会を増やしていくよう計画を立てていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者本人の地域との関わりをもつことができていない。	広域から利用者を受け入れしているため、利用者の地域での同年代の方との活動を行うことができない。	施設の周りの地域のボランティア活動や交流を持つ機会を設けたり、利用者が住んでいる地域の行事やボランティア活動への参加を促していく。
2	入り口が階段になっているため、足の不自由な方の利用が難しい。	建物の構造上バリアフリー化が難しいため、エレベーターの設置が難しい。	手すりを設置し、支援員が補助しながら利用者が安全に昇降できるようにして[redacted]
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		波の家魚住南放課後等デイサービス							公表日 令和7年 2月 1日
		利用児童数 17					回収数 11		
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	3		2	体を動かしたり、運動ができるスペースが欲しい。	活動の内容に適したスペースを定期的に見直し、他の公共の施設も使用しながら整えていきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10			1		適切な職員配置を今後も行います。面談時に配置基準や実際の職員配置人数などを示しながら、より丁寧に説明を行っていきます。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1		1		利用者の特性に応じた情報伝達や、安全面を考慮した活動・支援が実施できるよう、綿密にアクセスメントを行い、設備整備に反映していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1		2		今後も丁寧な清掃活動を日々行い、清潔な環境を整え、活動しやすい空間を心がけていきます。	
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	10			1		今後もより一層子ども一人ひとりの特性を理解し支援していきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	1		2		個々の支援内容に合ったカリキュラムの提供や、面談や説明会などで、カリキュラムの支援目的などの説明に努めます。	
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10			1		今後も子どもの理解により一層努め、保護者と子どものニーズや課題に即した支援計画を作成していきます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います	10			1		今後も子どもの支援に必要な5領域の目標設定と支援内容を検討していきます。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9			2		今後も計画に沿った支援を行い、保護者にもサービス提供記録などで支援内容についてお伝えしていきます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1		2		今後も固定化しないよう5領域を網羅した活動プログラムを行っていきます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	1		2		保護者や利用者のご要望があれば、障害のない子どもと活動する機会を検討していきます。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10			1		より一層丁寧な説明を行っていきます。	
保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10			1		保護者にわかりやすく丁寧な説明を行っていきます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1		2		研修などの間隔のスケジュールを提示し、保護者にペアレントトレーニングや研修に参加していただけるようにします。	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10			1		今後もより一層保護者への連絡を密に行い、共通理解できるように努めて参ります。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10			1		今後も継続していきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9			2		今後も子どもや保護者の気持ちにより添いながら支援していくよう、努力して参ります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1		2		事前に保護者会のご案内を行い、より多くの保護者が参加でき、保護者同士が交流を深められる保護者会の実施を心がけていきます。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			1		原因や問題点を明らかにした上で記録を残し、職員間で情報を共有することで同じことが繰り返し起こらないように対応していきます。また、未然に防ぐことができるよう、丁寧な支援・対応を日頃から徹底していきます。	

保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10			1		今後も個人に合わせて伝達の仕方を工夫していき、利用者や保護者に分かりやすくお伝えできるよう努めて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10			1		今後も継続していき、活動概要などをご理解いただけるよう発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			1		今後もより一層個人情報を適正に取扱い、管理についての取り組みについてお伝えしていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1		1		今後も様々な想定をした訓練を行い、保護者に周知していただけるよう説明して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			1		今後も非常災害の発生時に迅速に対応できるようマニュアルを用い必要な訓練を実施していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			1		安全を十分確保しながら支援し、保護者にもマニュアルに基づいて計画していることをお伝えしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1		1		今後も事故やけがの発生時には速やかに連絡し、丁寧な説明をして参ります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10			1		今後も安心して来所していただけるよう心がけていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	2		1		楽しみに来所していただけるよう、活動内容を充実させていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	1		1		今後も個々の理解に努め、こどもや保護者にきめ細やかな支援ができるよう努めて参ります。